

## 〈校 訓〉

自由 創造 飛翔

### 教育目標

- 真理を求め、自ら主体的に学ぶ人間を育てる。
- 自他を愛し、ふれあいを深め協力しあう人間を育てる。
- 勤労を重んじ、強固な意志と強健な体力を持つ人間を育てる。

### 目指す学校像

生徒一人ひとりの目標実現に向け、基礎学力の定着を図るとともに五つの学系による生徒の個性や能力を伸ばす教育を推進する。  
逞しく生き抜く力の育成と知・徳・体の調和のとれた人間形成に向け高いレベルの文武両道の実現を図る。  
生徒が誇りを持ち、地域や保護者に愛される学校づくりを推進する。

継 承

統合新設校

### 目指す生徒像

共創力(他者と協働し、互いの能力を掛け合わせて、新しい価値を創り出す力)を身につけ、様々な活動において発揮する。  
心身ともに健康で、生き生きと学校生活を送り、自己の目標達成に向けて意欲的に取り組む。

### 目指す教師像

教育に対する情熱をもって生徒一人ひとりに向き合い、適切な指導と支援を行う。  
生徒の共創力を高める指導を実践するとともに、各学系が連携、協働し、学校の教育活動全体の充実に繋がるよう力を発揮する。

### 現状・課題の把握

#### 〈学校に対するニーズ〉

- [生徒]  
○わかる授業と基礎学力の定着  
○能力を活かした進路目標の達成  
○特別な配慮を要する生徒の支援  
○安全で安心な学校環境の整備

- [保護者]  
○自立して生活する力の育成  
○学力向上と進路実現  
○部活動の成果  
○情報の共有  
○生徒支援に関する連携

- [地域住民]  
○地域に貢献できる人材育成  
○文武における高いレベルの活躍  
○地域活動への積極参加

- [その他]  
○将来に生きる資質(礼節、コミュニケーション能力)の育成  
○統合新設校に向けた準備

#### 〈パートナーとの関係〉

- [生徒]  
○将来をデザインするキャリア教育  
○困り感を把握した教育支援  
○性的マイノリティ等 多様な個性に係る対応  
○各種調査による生徒把握

- [保護者]  
○学校の教育活動への理解と協力  
○経済的支援  
○学校評価の参加

- [地域住民]  
矢巾町  
○教育活動を充実させるための財政的かつ精神的支援

- [その他]  
○地域住民、県外在住者と連携し本校の教育活動を支援

#### 〈学校に与える影響の変化〉

- 高校再編後期計画(令和7年度盛岡地区統合新設校)の推進

- 校舎等大規模改修に伴う環境整備の推進

- 活動・交流拠点整備事業(県と矢巾町との共創プロジェクト)の推進

- 矢巾町の教育環境の変化に伴う幼・小・中・高(不来方高校)・大(産業技術短期大学校・岩手医科大学)との校種を超えた連携への期待

- ICT活用等、学校教育に求められている改革推進

# 令和6年度 重点目標

## 1 進路達成につながる学力を習得させる授業展開

- ア 互見授業や研修を通じて、授業力を高め、「わかる授業」で基礎学力の定着を図る。
- イ 言語活動を重視した授業により、「思考力・判断力・表現力」を育成する。
- ウ 専門的指導や多様な学習で習得した能力を活かし、創造的な情報発信をさせる。
- エ 1人1台端末の効果的な活用により、きめ細やかな指導による個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る。

## 2 自らの将来をデザインする能力が身につくキャリア教育

- ア 自らの将来をデザインする能力を身につけさせるため、学系間・学年間の連携のもと、全校的な指導体制の構築を図る。
- イ 3年間を見通した進路指導を軸に、外部資源の活用などにより多角的な視点を獲得させる。
- ウ 探究的活動を通じ共創力の育成に繋げるとともに、問題発見・解決能力を身につけさせる。

## 3 基本的な生活習慣の確立

- ア 社会生活を円滑に営むための時間厳守・挨拶・整容・掃除などの基本生活習慣について、組織的継続的・適時的に指導する。
- イ 他者を思う生徒の心を育てるとともに、いじめ防止対策を徹底して安心安全な環境を確立する。
- ウ 社会のデジタル化に対応する情報モラル教育と自己指導能力や規範意識の獲得に向けた取組を推進する。

## 4 生徒会活動並びに部活動の活性化

- ア 生徒会活動や体験的学習によって、批判的思考力を高め自立を促す。
- イ 自主的・自発的な取組による部活動を活性化し、心技体の充実と自己肯定感の向上を図る。
- ウ 健やかな成長を育むため、週1日以上以上の休養日を徹底しながら、年間平均で週当たり2日以上以上の休養日の設定に努める。

## 5 組織的ないじめの未然防止と早期発見・適切な対処

- ア 生徒一人ひとりに寄り添う指導と自立に向けた適切な支援にあたる。
- イ 生徒の多様な個性や心身に関する情報を共有し、オーダーメイドの支援を組織的かつタイムリーに行う。
- ウ 生徒の心の健康に関する理解を深めるため、効果的な研修を進めるなど、教育相談体制の充実に取り組む。

## 6 地域との協働による学習活動

- ア 各学系の学びを連携させ、小・中学校との協働や地域資源の活用及び学校開放などによる地域と交流を推進する。
- イ 国際性を身につけさせ、文化・スポーツ活動等を通じた交流の担い手を育成する。
- ウ 学校情報の迅速な伝達・発信に努めるなど、家庭との日常的な信頼関係の構築を図る。

## 7 生徒一人ひとりの人格と価値観を尊重し不適切な指導を根絶する体制の構築

- ア 生徒一人ひとりの目標が達成できるよう生徒との対話を重視し、コミュニケーションを十分図ったうえで指導にあたる。
- イ 定期的な面談及び心とからだの健康観察等を通じて生徒の悩みや不安を把握する。
- ウ 指導者による暴力（体罰）・ハラスメント（生徒の人格を傷つける言動）根絶に向けた実効性のある研修を進め、適切な部活動体制の推進に取り組む。